News Release　KNT-CT Holdings Co., Ltd.

2026 年 4 月 21 日　【広報 10 号】

近畿日本ツーリスト×森永乳業×南房総市観光協会　共同企画
酪農の未来を「旅」で考える体験型ツアーを実施

～酪農発祥の地・南房総で酪農や乳の価値を知る「牛乳月間記念 ミルクツーリズム」～

ＫＮＴ－ＣＴホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小山 佳延）のグループ会社である近畿日本ツーリスト株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：永﨑 安基）は、森永乳業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大貫 陽一）と一般社団法人南房総市観光協会（代表理事会長：清宮 信英）と共同で、6 月の「牛乳月間」に合わせ酪農の現場などを訪れて学ぶ体験型バスツアー「牛乳月間記念　南房総ミルクツーリズム」を企画し、2026 年 6 月 13 日（土）に実施します。





■本企画の背景

日本の酪農は現在、牛乳の消費量の長期的な減少、飼料価格の高騰、酪農家の減少など、さまざまな課題に直面しています。こうした中、酪農の魅力や乳の価値を消費者に広く伝え、理解を深めてもらうことが、持続可能な酪農産業の維持にとって重要なテーマとなっています。

また、2001 年、国連食糧農業機関（FAO）は牛乳への関心を高め、酪農・乳業の仕事を広く知ってもらうことを目的に、6 月 1 日を「世界牛乳の日（World Milk Day）」と定めました。これにちなみ、日本では 2007 年から 6 月 1 日を「牛乳の日」、6 月を「牛乳月間」としています（一般社団法人日本乳業協会）。

なお、本企画は、農林水産省が一般社団法人Ｊミルクとともに立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」※の趣旨に賛同し、国産の牛乳乳製品の消費拡大へ繋げることを目的の一つとした企画です。

近畿日本ツーリストは、2022 年千葉県南房総市と旅行商品造成による観光を通じた各種産業および地域全体の活性化と推進をはかるため、「観光振興及び地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。
本ツアーは、森永乳業および南房総市観光協会と共同で企画し、酪農発祥の地とされる南房総地域を舞台に牧場見学や酪農体験などを通じて牛乳や酪農産業への理解を深めることを目的とした体験型ツアーです。参加者は生産者の方々との交流を通じて、酪農の魅力や乳の価値を学びながら、日本の食を支える産業の現状について理解を深めることができます。

■ツアー概要

・ツアー名：「牛乳月間記念　南房総ミルクツーリズム」（コース番号：JT000-988）

・実施日：2026 年 6 月 13 日（土）

・出発地：東京駅

・募集人数：40 名さま　※お申込みの先着順となります。

・主な訪問先、行程：須藤牧場（牧場見学・酪農体験）、酪農のさと、いきいき館（体験プログラム）

スケジュール　※内容は変更となる場合があります
東京駅･鍛治橋 → 道の駅 富楽里とみやま → 須藤牧場 → 丸山郵便局 → 道の駅三芳村 鄙の里 8:00　9:25～9:45　10:20～11:45　11:55～12:10　12:35～13:45 → 千葉県酪農のさと → 道の駅 富楽里とみやま → 東京駅･鍛治橋 14:15～15:45　16:10～16:30　18:10

・旅行代金：13,000 円(税込)

・ツアー詳細・申込みページ　URL：https://x.gd/WreNe

（※ツアー実施は当社グループ会社であるクラブツーリズム株式会社となります）

・本ツアーの内容は、森永乳業の『ミルクとウシと酪農の Web メディア「milushi みるし」』(https://milushi.morinagamilk.co.jp)でもご覧いただけます。

※「牛乳でスマイルプロジェクト」とは

酪農・乳業関係者のみならず、様々な企業・団体・自治体など官民から多様な参加者が、共通ロゴマークにより一体感を持って、更なる牛乳乳製品の消費拡大に向けて取り組むプロジェクトです。農林水産省が一般社団法人 J ミルクと立ち上げました。

森永乳業は、プロジェクトメンバーとして独自の販促・PR 活動を行い、国産生乳の価値を高められる活動に取り組んでいます。

「牛乳でスマイルプロジェクト」WEB サイト
https://smile.j-milk.jp/

ＫＮＴ－ＣＴグループでは、観光が持つ「体験」と「交流」の力を活かし、社会課題への理解を深める「社会課題解決型ツーリズム」を推進しています。本企画はその取組みの一環として、企業や地域と連携しながら、参加者が生産の現場を訪れて学ぶ機会を創出するものです。
これからも人と地域、産業をつなぐ観光の価値を通じて、持続可能な地域社会の実現と未来につながる新たな観光の創出に貢献してまいります。